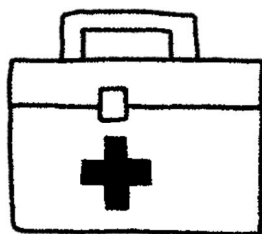


いちいちまる通信

いちいちきゆう

～あなたをそっといやします～



創刊号

目次

1. 理事長挨拶
2. 副理事長挨拶
3. 平成27年度総会報告
4. いちいちまるスタッフ紹介
5. こころのピアカン講座受講生募集
6. 大阪 KSG（高次脳機能障害）の活動報告
7. ヘルパーさん大募集！
8. 編集後記

ご挨拶

理事長・山浦 孝臣

新生いちいちまるは2013年(平成23年)春に誕生。障がい当事者が主役の自立生活センターとして再スタート致しました。大阪市の南部に位置する「平野区」で障がい福祉の一翼を担えるセンターでありたいと思っています。障がいのあるひとが障がいのあるひとを支えながら地域で生きていくために形になっていくようにサポートをするのは、思いのほか、骨の折れる仕事と言えましょう。それをするのが自立生活センターだと思っています。

いちいちまるは、障がい者の中で、広く普及しているピア・カウンセリングを最も大切にしているセンターです。失った・あるいは失いかけている自己信頼を回復させたり、新しい発見をするのにはピア・カウンセリングが有効で最適だからです。

地域でひとり暮らしがしたい・自分探しがしたい・仕事がしたい・友達が欲しい等々ひとりで悩まずに、安心していちいちまるに起こし下さい。情報提供をはじめ何らかの形で皆様の悩み解決を行なっていきます。

いちいちまるは、依存されずに・当てにされるセンターでありたいと願っております。まだまだ、駆け出しのセンターですが、今後とも叱咤激励を頂きますようお願い申し上げます。

副理事長になって

副理事長・石田 竜也

5月に、いちいちまるの副理事に就任して、毎日が不安です。何もかもが、初めてなのでまだまだこれから覚えることがいっぱいありすぎて、頭がパンクしそうだけど、でも この状況をどう乗り越えるかも自分の一つの課題でもあり最初の僕の試練だと自分では思っています。

体がついていくか心配だけど、自分の気持ちにあるていどのムチを入れていこうと思う。

でも、実は、もう 理事長になる覚悟が少し自分の中で、できていました。

今の理事長とお付き合いをさせていただいている時にそんな予感はしていました。

そして、結果的に副理事からスタートすることになりました。

まだ、走り出した新米の副理事です。

これから、臨機応変で、自分のペースをたもちながら、いろんなことに挑戦しながら、頑張っていくし、仲間みんなで作ってあげていくいちいちまるにしていきたいと思っています。

これからの 新生いちいちまるを宜しくお願いします。

特定非営利活動法人障がい者福祉総合支援センターいちいちまる

—平成27年度総会報告—

今年度から心と脳血管のピアカンにも取り組みます

特定非営利活動法人障がい者福祉総合支援センターいちいちまる(略称=NPO法人いちいちまる)は、去る5月24日(日)、午後1時から当法人事務所で開かれました。

総会での議題は以下の通り(会員総数 17名=出席数 15名 委任状 2名)

- ①平成24年度活動報告
- ②平成24年度収支報告
- ③役員改選
- ④平成25年度事業計画
- ⑤平成25年度収支予算

役員改選では5名の理事が選ばれた。総会途中で理事会が開催され、理事長は引き続き山浦 孝臣が選出された。副理事長には石田 竜也が就任した。

平成25年度事業計画では、変わることなく、ピア・カウンセリング事業が引き続き継続される中、新事業として2つのピア・カウンセリング講座が開催されることになった。ひとつは、昨年度テストケースとして行った「精神障がい者のためのピアカウンセリング」を今秋9月6日(本誌6頁詳細記載)に『こころに病のある人のためのピアカン講座』を開催。また、脳梗塞や脳内出血などによって脳血管障がい者になったひとのピアカウンセリング講座を10月25日(日)に開催することになっている。その他、地元平野区をより深く理解するための「平野区ぶらぶら歩けばものしり博士」のILPのシリーズ化を図っていく予定。

尚、第2・第4土曜日開催のピアカウンセラー養成は今年度まで無料。第2日曜日の誰もがわかるピアカウンセリング講座は年間2,000円。

一旦休憩して新理事による理事会開催、それが終了後、再度総会を開催。役員改選で選出された5名の理事が挨拶を行なった。その後、懇親会を開き、親睦を深め合って閉会。



スタッフ紹介

西平 和子 (事務局・相談支援専門員)

ある日突然、障がいのある人との交流がないまま、大阪市内の障がい当事者センターを訪問。そこで初めて触れたピア・カウンセリングの影響を受けて、人間的に大きく成長。彼女の特徴は、持ち前の明るさポジティブ思考そして行動力。いちいちまるの実務を一手に担っており、もはや、彼女なしではいちいちまるは語れない必要不可欠な存在に。自己表現が活発・明瞭なことから元気になれるワークショップのリーダーにもうってつけ。

久保田 純一 (相談員・ピアカウンセラー) 脳性麻痺

これからの成長が楽しみな若手のひとり。将来は相談専門員になっていちいちまるを引っ張って行くことになる。目下、なんでも見てやれ・してやれとピア・カウンセリングをはじめ絵画・将棋・落語鑑賞・風船バレーに至るまであれしょ・これしょ・そうしょと大忙し。破天荒さが目立ついちいちまるの中にあって、きわめて、温厚・誠実・着実なひと。着実に腕を磨いている。

比嘉 由隆 (相談員・ピアカウンセラー) 大阪KSG代表世話人

いちいちまるにとって不可欠なムードメーカー。彼の言動は笑いを誘い、周りを和ませ、明るくする。その自然さは有難い存在。目下、大阪高次脳機能障害セルフヘルプグループ (略称=大阪KSG) の結成に情熱を傾けている。現在ではサポートグループひなたぼっこの会を作り奮闘している。

仕事では知的障害者のピア・カウンセリングのサポートも行っている。高次脳機能障害による記憶障害を独自のメモ帳でカバーしながら、日々の業務をこなしている。そんな彼の最大の関心事は「結婚したい！」。

山崎 ゆき (相談員・ピアカウンセラー) 脳性麻痺

ひたすら努力のひと。何をするにも努力を積み重ねる姿は思わず「えらい！」と言わしめる。しかも情に熱く、文字通り<情熱のひと>でもある。このひと、これからの成長が楽しみであり、相談支援専門員をめざし、いちいちまるを背負っていくことになる。只今、久保田同様、ピアカン学習会のリーダーをしながら、その力を高めているところ。生け花・さおり織・落語鑑賞・料理と趣味も多彩。

張田 智子 (介護派遣事業担当)

いちいちまるを影から支える縁の下の力持ち。

その曲がったことが大嫌いな性格は、ヘルパーステーションひらののヘルパーとしても、これからはがんばってくれること間違いなし！

この人もいちいちまるには、なくてはならない存在で、時には厳しく怒るところもありますが

やはりそこは女性ならではの柔らかい目線でいちいちまるを見守っていつでもいいと思います。

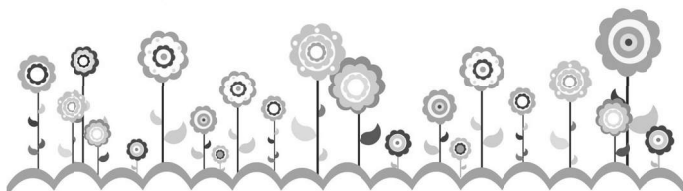
金本 政和 (事務局)

いちいちまるでは笑顔の似合うフレッシュ兄さん。なんでもそつなくこなすスーパーマンです。

そして仕事はこれまた丁寧で、ヘルパーステーションひらのの請求作業もやってくれています。

いつもにこにこフレッシュ兄さんのこれからの楽しみです。

最後に1つ、この人の電話対応の素晴らしさは一見の価値ありですよ。



山田 勲 (ピアサポーター)

サービス提供責任者 (サ責) である彼。ヘルパーとして、現場でもバリバリ働いている。物静かで、やさしさにあふれ、不器用さを感じさせる人柄には、ひとの心を癒す力を感じさせる。

彼が、いちいちまるの最も誇りに思っている人物であるのは、高次脳機能障がい当事者のひとたちのロールモデルとしての存在だからである。大阪高次脳機能障がいセルフヘルプグループ (略称: 大阪KSG) のメンバーで兄貴としての存在感を醸し出している。彼がそこに居るだけで安心出来る。

相場 広一 (介護職員)

帰って来ましたこの男。一時、NPOの介助職員から登録ヘルパーに甘んじていた。しかし、何故か? 今年の4月、介護職員として返り咲きを果してくれました。機関誌「いちいちきゅう」の編集長比嘉と同じ37歳の働き盛り・男盛り。

真面目で、言われた仕事はきっちりするが、何も言われないと、何もしたくないところもあって、しかも、口下手・人見知りもあって、誤解されやすく、人物評価はデスクアウトされて来た。しかし、本人の居場所はいちいちまるにある。

岡田 れな (研修生)

いちいちまるの高齢化現象を食い止める研修生が現れた。その名はアンナ! (古いねえ~) 実は、岡田 れなと申します。つい、こないだまで19歳でしたが、誕生日が来てハタチになったとパイ。九州のオナゴじゃがね。博多の女 (ひと) バッテンやからいいオナゴじゃがね。何語しべってかわからなくなったので、標準語に戻って…彼女は、最初、ヘルパーをしながら障がい福祉の勉強をして、ゆくゆくはいちいちまるの職員になりたいとか。大切にします。

古谷 美和 (研修生)

何かしたい! 何ができるか知りたい! そんな思いを持って、いちいちまるに顔を出している彼女。パソコンができることから、機関誌「いちいちきゅう」の編集委員になって、比嘉編集長のサポートをしている。いちいちまるの最大の特色でもある、何でも好きにやらせることによって、本人自身が何かを発見して、自分の生きがいを見つけてくれたらと思うている。何の役にも立たない山浦ジジ長、失礼、理事長の理念のひとつでもある。花開け・美和さん!

長野 五十鈴 (ピアサポーター)

とにかく、底抜けに明るい! 一明朗活発なヘルパーさんなのです。嫌な・辛い・悲しいことがあれば黙って聴いてくれる女性 (ひと) なので、それだけで心が癒され・元気になるから不思議。2人の子どもの母親というところあたりにひとの心を癒していく力があるのかもしれない。自転車で乗って利用者さんから利用者さんへ、平野の狭しと走り回っている姿は何とも言えない頼もしさと安心を感じさせる。そんな彼女だから、いちいちまるではなくてはならない存在なのです。

中西 和也 (研修生)

彼も岡田れなちゃんと同じく研修生。彼も福祉の世界で飯を食いたいと言う。目下のところヘルパーから仕事をはじめることになる。実際に現場に行き研修中。元々、足の悪い母親の車椅子を押してきた経験もあることから、研修先での評判も上々。本職はとび職。いちいちまるの比嘉・相場とほぼ同じ年。男盛り・働き盛り。一見、強面の兄さんのイメージだが、話をすれば、やさしい人柄であることがすぐにわかる。人材不足だったいちいちまるには、救世主になる存在か…

石田 竜也 (相談員・ピアカウンセラー) 脳性麻痺

みんなからはくいしやん>と呼ばれる人気者。ピアカンに研修会に講座にと電動車いすですさそうと駆け抜けます。何をすることも一生懸命。そんな彼の姿に感動し、勇気もらっているひとは少なくない。久保田・山崎・比嘉と並んでいちいちまるの若手4人組のひとり。今年3月で3年目の自立生活を送っています。

ここの一番の勝負強さは、これからのいちいちまるにはなくてはならない存在です。この4月からいちいちまるの副理事長に就任し、いちいちまるを盛り上げていって欲しいと思っています。

山浦 孝臣 (理事長・相談支援専門員) 脳血管障害

御年 (おんとし) 73歳。心理学的思い込みを実践中。それは、「あと、70年しか生きられないヤマちゃんです!」と、会う人ごとに言い放ってはばからない生きざま。とにかく、わけのわからん、はた迷惑なおじんギャグを連発しては、自分で笑って楽しんでいる。

文学・演劇・落語・歴史極め付きは食い道楽いちいちまるには役に立たないものばかりをやけに極めている。さっぱり、存在感のないおじいちゃん。心配だあ~いちいちまる。の弁が大。

しなやかさを求めて・・・

やまい
 こころに病のあるひとのための
 ぴあかんこうざ
 ピアカン講座

仲間がいるから元気になる 仲間がいるからなんでもやれる

こころが傷む。こころが叫ぶ。こころが暴れる。こころが泣きじゃくる。

そんなこころの舵を執るのはあなた自身です。

ピアカウンセリングを通して、元気なこころを回復しましょう！

開催日時： 2015年9月6日 日曜日 13:00~16:00

会場： 特定非営利活動法人 障がい者福祉総合支援センター いちいちまる多目的ホール

(〒547-0012 大阪府平野区長吉六反3-6-30 サングレールマンション一階 Tel 06-6777-3014)

定員： 5名

受講料： 500円 (当日会場でお支払下さい。)

申込方法： このチラシの申込用紙に必要事項を記入の上、FAXして下さい。 FAX06-6777-3084

申込締切： 7月31日必着。申込多数の場合は抽選により決定。

受講生発表： 8月10日までに電話で受講合格者にお知らせいたします。

講座内容： ピアカンとは・ピアカンの必要性・ピアカンの基本と理論ほか。

リーダー： 山浦 孝臣 (特定非営利活動法人 障がい者福祉総合支援センターいちいちまる理事長)

ふりがな	
しめい 氏名	
じゅうしょ 住所	〒
れんらくさき 連絡先 (Tel)	

いちいちまる (2015年度) こころに病のあるひとのためのピアカン講座

大阪高次脳機能障がいセルフヘルプグループ (略称:大阪KSG)

大阪KSGとは、大阪高次脳機能障がいセルフヘルプグループのことです。

交通事故やその他頭部のケガ、脳卒中などの病気で脳が損傷を受けたため、言語や記憶などの機能に障害がおきた状態を言います。

また、外見上は分かりにくく本人も自覚がないため、見えない障がいといわれています。

注意力や集中力、記憶力の低下、比較的古い記憶は保たれているのに新しいことは覚えられない、感情や行動の抑制がきかなくなるなどの精神・心理的症状が現れ、周囲の状況にあった適切な行動が選べなくなり、生活に支障をきたすようになります。

そこで大阪KSGでは、当事者たちの生活のしにくさなどを話し合っていく場を作りました。その名も「ひなたぼっこの会」です。

活動内容

- ・高次脳機能障がい当事者やご家族の方が集まり情報交換をする場(ひなたぼっこの会)
- ・みなさんで相談やピアカウンセリングをする。
- ・就労や仕事についての相談。
- ・茶話会、遠足、バーベキューなどのイベント企画、立案、実行。
- ・コミュニケーション力のアップ、各自にあったリハビリの紹介。



特定非営利活動法人

障がい者福祉総合支援センター いちいちまる

「大阪高次脳機能障がいセルフヘルプグループ(略称:大阪KSG)」

代表世話人 比嘉由隆

TEL: 06-6777-3014

FAX: 06-6777-3084

HP: <http://koujinoukinousyougai.web.fc2.com/>

E-MAIL ichiichi.h@gmail.com

2ヶ月に1回のペースでサポートグループひなたぼっこの会を行っています。

ヘルパーさん大募集

そばに利用者さんがいるので話していくうちに仕事にも慣れますよ！

つらいこともあるかもしれませんが仲間が助けてくれます！

あなたのチカラを私たちに貸していただけませんか？

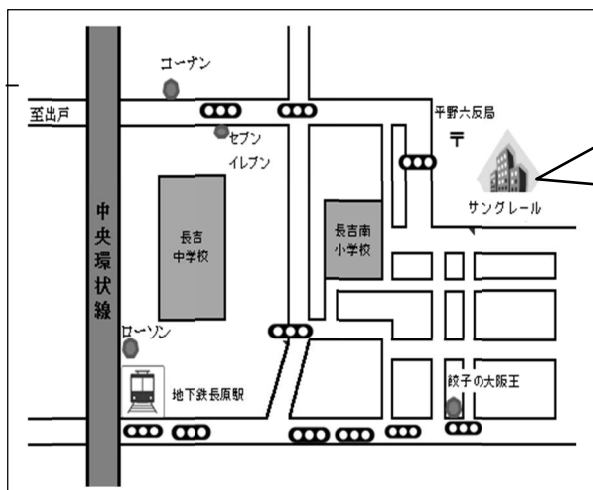
ヘルパーステーションひらの 06-6777-3084

編集後記

機関誌いちいちきゅう編集長の比嘉です。

今回から高次脳機能障がい当事者の俺が機関誌の編集長をやる。

名前も「いちいちきゅう」に変更して、内容も大幅にリニューアルしていきたいと思っています。



ここが
いちいちまる
です

発行人・編集

特定非営利活動法人

障がい者福祉総合支援センター

いちいちまる

編集長

比嘉由隆

編集

久保田純一/久傳隆幸/古谷美和

特定非営利活動法人障がい者福祉総合支援センター いちいちまる

〒547-0012 大阪市平野区長吉六反3丁目6番30号サングレールマンション1階

TEL 06-6777-3014 FAX 06-6777-3084 E-Mail ichiichi.h@gmail.com